

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		利用者さんとスタッフの間に慣れすぎた感があり、接遇者としての言葉遣いの配慮と気遣い不足が見られる。	親しみのある敬語を、あたたかい言葉で対応する事ができるよう日頃から言葉遣いに対するの関心を持つ。	・外部研修に参加、研修報告 ・自施設実習の取り組み ・職員間で注意をし、対応していく	年間を通して
2		知識・技術の向上	施設内外の研修、勉強会等に積極的に参加。	知識と技術、それに伴う利用者への対応法を身につける。	随時
3		個別ケアの確立	利用者一人ひとりが心にしこりのない毎日を送る。	勉強会時の個別のカンファレンスで利用者各々の認知症状態に添える様なサービス計画をたてる。	
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。